

令和5年度事業報告書

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症への適切な対応の下、円滑な組織・事業運営を確保するとともに、都道府県緑化推進委員会と連携を保ちつつ、緑の募金事業や緑と水の森林ファンド事業等を通じ、多様な主体による国民参加の森林づくり等国土緑化運動の一層の推進を図り、併せて「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成や「2050年カーボンニュートラル」の実現等への貢献に努めた。

また、森林や自然に対する関心を深めるため、関係団体等と連携協力の下、森林ESD（森林環境教育）の推進に努めるとともに、未来の緑や森林づくりを支える緑の少年団等の活性化に努めた。

さらに、東日本大震災や能登半島地震等の自然災害による被災地域の緑化や防災林等の整備のための支援を実施した。

I 国土緑化推進事業

1. みどりの祭典

緑化意識の更なる高揚と、国民参加の森林づくりを一層推進するため、全国植樹祭、全国育樹祭等のみどりの祭典の開催について、緑の少年団や森林ボランティア等を含む幅広い国民の参加を得て取り組んだ。

令和5年度みどりの祭典の実施状況

行事名 実施時期 場所	主催者	行事概要
○第74回全国植樹祭 ・式典 時期：令和6年5月26日 場所：岡山市北区いずみ町 (ジップアリーナ岡山)	国土緑化推進機構 岡山県	*天皇皇后両陛下御臨席 テーマ「晴れの国 光で育つ 緑の心」 参加者：約3,000人(スタッフ除く) お手植え：アカマツ、ヒノキ、スギ、クロガネモチ、アテツマンサク、キクザクラ お手播き：ヒノキ、スギ、ヤマザクラ、イロハモミジ 併催行事：第52回全国林業後継者大会、 緑化関連イベント
○第46回全国育樹祭 ・お手入れ 時期：令和5年11月11日 場所：潮来市 (茨城県水郷県民の森) ・式典 時期：令和5年11月12日 場所：水戸市 (アダストリアみとアリーナ)	国土緑化推進機構 茨城県	*皇嗣同妃両殿下御臨席 テーマ「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」 参加者：約2,000人(スタッフ除く) お手入れ内容：皇嗣同妃両殿下による枝打ち・施肥 併催行事等 ① 全国緑の少年団活動発表大会 ② 育林交流集会 ③ 森林・林業・環境機械展示実演会

行事名 実施時期 場所	主催者	行事概要
○第33回みどりの感謝祭 ・式典 時期：令和6年5月11日 場所：東京都 （イイノホール） ・みどりとふれあうフェスティバル 時期：令和6年5月11日・12日 場所：八王子市（高尾599ミュージアム）	農林水産省 林野庁 東京都 国土緑化推進機構 日本緑化センター 日本森林林業振興会 東京都農林水産振興財団東京緑化推進委員会	※名誉総裁佳子内親王殿下御臨席 テーマ「感じよう みどりの恵みと木のぬくもり」 参加者：式典：約250人（スタッフ除く） みどりの文化賞の顕彰 ・塩野 米松 参加者：みどりとふれあうフェスティバル：約3,000人（スタッフ除く）

2. 全国緑化キャンペーン

国民の各層に緑化活動への参加の輪を広げ、国土緑化運動の大幅な前進を図るため、全国緑化キャンペーン期間（1月15日～5月31日）を設定し、各種の全国共通キャンペーンを集中的に実施した。

令和5年度全国緑化キャンペーンの実施状況

実施期間	1月15日～5月31日
共通スローガン	「植える」緑化から「使う」緑化へ
共通アイドルキャラクター	“どんぐりくん”、“どんぐりちゃん”
共通キャンペーンの内容	① 緑の羽根着用キャンペーン ② 国土緑化ポスターキャンペーン ほか

3. 緑化運動各種コンクール及び緑化功労者等各種表彰

幅広い国民の緑化意識の高揚を図るため、引き続き、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、全日本学校関係緑化コンクール、緑化功労者の表彰、緑の少年団活動優秀団体の表彰等を行った。

令和5年度各種コンクール及び表彰の実施状況

名 称	受 賞 者	表 彰 会 場	備 考
国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール	特 選 6点 準特選 9点 入 選 36点	第74回全国植樹祭	応募点数 28,741点 応募校数 2,302校
国土緑化運動・育樹運動標語の募集	特 選 2点 入 選 8点	全国緑化推進委員会連絡協議会	推薦38道県356点 (全国応募数20,029点)
全日本学校関係緑化コンクール	特選 4校 準特選 9校 入選 10校 ノースロップ賞 2団体	第74回全国植樹祭	
緑化功労者の表彰	農林水産大臣賞 3名 機構会長賞 3名 林野庁長官賞 7名 機構理事長賞 4名	第74回全国植樹祭	
緑の少年団活動優秀団体の表彰	大会会長賞 5団 機構理事長賞 5団 少年団連盟会長賞 5団	第46回全国育樹祭 緑の少年団交流大会	
緑の少年団育成会の表彰	団体 2団体 個人 3名	第46回全国育樹祭	
全国育樹活動コンクール	① 団体の部 農林水産大臣賞 1団体 林野庁長官賞 2団体 機構理事長賞 4団体 ② 個人の部 農林水産大臣賞 1名 林野庁長官賞 2名 機構理事長賞 -名	第46回全国育樹祭	
ふれあいの森林づくり表彰	機構会長賞 4団体 機構理事長賞 5団体	第46回全国育樹祭	

4. 普及啓発活動

国民参加の森林づくり運動の普及を図るため、以下の活動を行った。

- (1) こどもの森づくりフォーラム in SAITAMA の開催
(令和5年7月8日・9日(埼玉県秩父市等))
- (2) 「国民参加の森林づくりシンポジウム」の開催
(令和5年11月26日(福井県坂井市))
- (3) 「緑の募金だより」等で、緑化運動の普及に努めるとともに、当機構ホームページの充実に努めた。
- (4) ミス日本協会との連携により、令和6年1月の「ミス日本コンテスト」の選考において「2024 ミス日本みどりの大使」を選定するとともに、みどりの大使による森林・みどりの重要性をPRする活動を支援した。

5. 青少年緑化活動

青少年の緑化活動の推進を図るため以下の事業を実施した。

(1) 緑の少年団活動

緑の少年団は全国で3,071団、321,012名(令和6年1月1日現在)となっており、当機構ホームページ等により情報の発信に努めるとともに、少年団活動を促進するため、27団に活動経費を助成した。

また、緑の少年団指導者研修交流会(全国5ブロックで実施)等を通じて、緑の少年団活動の推進を図った。

(2) 学校林活動

当機構ホームページにより学校林等のフィールドの利活用情報を発信するとともに、緑と水の森林ファンド事業を通じて学校林活動の推進を支援した。

また、都道府県緑化推進委員会及び森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育促進事業を19校で実施するなど学校林活動の推進を図った。

6. 森林サービス産業の推進

森林サービス産業の推進を図るため、以下の事業を実施した。

(1) 森林所有者による「森林サービス産業」推進事業

森林所有者への「森林サービス産業」の普及啓発と参入促進を目的に、「森林サービス産業白書」の作成を3年目(令和7年度)の成果目標と定めた事業を立ち上げた。1年目は調査委員会や現地での事例調査、森林所有者を対象とした「先進地視察&意見交換会」を神奈川県小田原市の「T-FORESTRY」で開催した。

(2) 森林サービス産業マッチングプラットフォーム WEB サイトの運営

森林サービス産業の推進に意欲的な地域を「森林サービス産業推進地域」として登録し、WEBサイトで紹介するなど情報発信を行った。また、運営事務局を林野庁森林利用課と共同で担い、より一体的な推進地域の支援を図った。

7. 新たな森林づくり推進国民運動の展開

(1) 「フォレスト・サポーターズ」の推進

多様なセクターと密接な連携・協力を図りつつ、エコプロ 2023 などの各種イベント等を通じて「フォレスト・サポーターズ」への登録・参画を積極的に呼び掛けた。(令和6年6月末現在7万2千件の登録)

(2) 森林づくり全国推進会議の取組

「森林づくり全国推進会議」の事務局として SDGs の達成やカーボンニュートラルの実現に寄与する森林づくりを推進した。

林野庁、「林業復活・地域創生を推進する国民会議」等と連携・協力し、シンポジウムや勉強会を開催した。

8. 森林NPO・ボランティアや企業による森林づくり活動

緑の募金や緑と水の森林ファンドの事業を活用し、森林NPO・ボランティア団体の活動を支援した。

また、企業・NPO・ボランティア団体・森林所有者をつなぎ、マッチングやコーディネーターを行うサポート団体を公募により選定し支援するとともに、ポータルサイト(森ナビ・ネット)の情報の充実に取り組んだ。

さらに、全国のボランティアが集い意見交換する「森林と市民を結ぶ全国の集い2024」を、生物多様性をテーマにオンライン及び現地(福岡県八女市)でそれぞれ開催した。

9. 東日本大震災や能登半島地震等の自然災害の被災地復興支援への取組

東日本大震災で被災した海岸防災林の再生を目指し、関係する企業・NPO等とのネットワークの充実を図るとともに、被災地の現状や支援の取組に関する情報の収集・提供活動等を進めた。

また、緑の募金等を活用し、被災した海岸林の再生等被災地域の復興に引き続き取り組むとともに、能登半島地震等の自然災害被災地のニーズに応じたきめ細かな緑化支援活動を進めた。

II 緑の募金

国民の森林づくりへの関心を、緑を守り育てる具体的な運動に結びつけるため、「緑の募金全国一斉強調月間」を設定し積極的な募金活動を展開するとともに、多様な募金事業を実施した。

1. 緑の募金推進体制の整備と募金活動の推進

(1) 推進体制の整備

全国組織を持つ各種団体、コンビニエンスストア、フランチャイズチェーン等に緑の募金への協力を要請した。

(2) 普及啓発・広報活動の実施

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンに、「森林を守る 森林を活かす」のポスター・キャッチコピーも活用し、「緑の募金キャンペーン 2024」を「みどりの月間」を中心に実施した。

国土緑化巡回写真展「日本の森林いまむかし～蘇る山々の緑～」を開催し、地球温暖化防止や森林保全の重要性などを呼び掛けた。

森林が持つ様々な役割や大切さをこども達に伝える「森の教室」を、初開催の福井県、岐阜県、山口県及び宮崎県など 22 都道県 77 か所で開催し、4,746 人の園児が参加した。

また、団体等機関広報誌、協賛広告との連携及びマスコミへの情報提供並びにホームページや SNS 活用等により情報発信の充実に努めた。

(3) 募金活動の強化

企業、団体等に対し積極的に募金要請を行うとともに、ホームページや各種媒体により募金への協力を呼び掛けた。また、東日本大震災や能登半島地震等の自然災害被災地の復旧支援に充てるため、使途限定募金への協力を呼び掛けるとともに、募金状況や事業の実施状況をホームページで公表した。

募金活動の実施に当たっては、引き続き感染症対策を適切に実施した。

この結果、令和 5 年度の緑の募金額（中央募金）は、緑の募金収入 3 億 5,506 万円に加え、特定事業寄附金収入等を合わせ 4 億 4,438 万円になった。

2. 緑の募金事業の実施

緑の募金事業の実施に当たっては、全国的または国際的見地からモデル性のあるものを優先して、直接事業 122 件、公募事業 148 件、計 270 件を助成した。

直接事業のうち、東日本大震災や能登半島地震等の自然災害による被災地域の復旧に向けて、防災林等の森林整備や居住地域周辺や学校周辺の緑化及び避難所等の環境整備等を「緑の募金」により支援する「東日本大震災復興支援事業」及び「能登半島地震復旧支援事業」等につき 10 件を助成した。また、学校周辺での緑化活動を通じて環境整備を推進する「学校環境緑化モデル事業」を 77 件で助成した。

さらに、全国の森の名人等を訪ね、高校生が森とともに生きる知恵や技などを「聞き書き」により記録し発信する「聞き書き甲子園」は、WEB を併用して研修の上現地取材を実施し、成果報告の場としてフォーラムを開催（WEB 併用）した。

事業の実施にあたっては、引き続き感染症対策を適切に実施した。

募金事業の実施概要は以下のとおりである。

令和5年度緑の募金事業の実施状況

事業項目	事業内容
森林整備	<p>① Forest Style 普及に向けた森林づくり（神奈川県他）</p> <p>② 企業等の参画による森林づくり（全国）</p> <p>③ 地球温暖化防止や生物多様性保全に向けた森林づくり（静岡県他）</p> <p>④ 東日本大震災復興支援（宮城県他）</p> <p>⑤ 公募事業「森の笠地藏プロジェクト2023」 等</p> <p>（助成事業内訳 直接事業 26 件 公募事業 53 件 計 79 件）</p>
緑化推進	<p>① 国土緑化の普及・啓発・推進（全国）</p> <p>② 青少年の体験学習の森林づくり（全国）</p> <p>③ 全国植樹祭等関連（岡山県他）</p> <p>④ 東日本大震災復興支援（宮城県他）</p> <p>⑤ 能登半島地震復旧支援（石川県）</p> <p>⑥ SDGs 達成貢献（千葉県他）</p> <p>⑦ 公募事業「健康な森づくりに関する作業及び調査事業」 等</p> <p>（助成事業内訳 直接事業 90 件 公募事業 71 件 計 161 件）</p>
国際協力	<p>① アジア・オセアニア森林造成（インドネシア他）</p> <p>② アフリカ森林造成（マリ）</p> <p>③ SDGs 達成貢献（フィリピン）</p> <p>④ 緑の国際ボランティア研修（カンボジア）</p> <p>⑤ 公募事業「インドネシア・プダワ村水源地保護事業」 等</p> <p>（助成事業内訳 直接事業 6 件 公募事業 24 件 計 30 件）</p>

III 緑と水の森林ファンド

1. 緑と水の森林ファンドの適切な運用

緑と水の森林ファンドについては、令和5年度末残高は175億4,038万円であり、特に昨今の歴史的な円安など金融を取り巻く内外情勢を踏まえ、安全性の確保を図りつつ効率的な運用に努めた結果、令和5年度の運用収入は431百万円となった。

2. 緑と水の森林ファンド事業の実施

令和5年度の事業実施に当たっては、国内外における森林に対し、地球温暖化の防止、国土の保全、水資源のかん養、森林環境教育の場の提供など、森林・みどりへの関心・理解が深まってきていることを踏まえ、「国民参加の森林づくり」運動につなげるために、SDGsの普及定着の促進を基本的理念としつつ、次の重点課題を中心に事業を実施した。

一方、新型コロナウイルス感染症対策として「みどりの感謝祭」をはじめとして多くの事業が内容の変更、若しくは、中止を余儀なくされたものの、可能な限りWEBの活用等開催方法を工夫した。

3. 重点課題

(事業の重点課題)

- ① 人生100年時代におけるライフステージに応じた森林空間利用の促進
- ② 「緑や水」「森林と木材の利用」「震災復興支援」など森林に関する総合的・効果的な普及啓発
- ③ 地域材の利用推進等山村資源の有効活用等による山村地域の活性化
- ④ リーダーの養成、森づくり活動における安全確保、ネットワーク形成支援等による森林ボランティア活動支援
- ⑤ 学校林活動など森林ESD（森林環境教育）の促進や緑の少年団活動支援、中高等教育との連携等による次世代の育成
- ⑥ 森林の公益的機能、持続的な森林づくりの循環等に関する調査研究

4 各事業の実施状況

(1) 中央事業

区 分	事 業 内 容	摘 要
1 普及啓発 (40 件)	(1)普及啓発活動等 ・みどりの感謝祭 ・みどりの文化賞の顕彰 ・機関誌「ぐりーん・もあ」のWEB化の検討 ・教科等と連動した森林ESD実施モデル創出 ・ウッドデザイン賞の顕彰 (2)各種イベント、シンポジウム等の実施・助成 ・巨木を語ろう全国フォーラム in ^{ほしかみ} 階上(青森県) ・木材利用推進シンポジウム(東京都) ・国民参加の森林 ^{もり} づくりシンポジウム(茨城県) ・国際森林デー中央行事(東京都) ・森林・木材に関する公開シンポジウム(東京都) (3)地方活動への助成 等	
2 調査研究 (5 件)	(1)森林生態系の環境変化に対する適応性・抵抗性に関する調査研究 (2)文化財補修用材の供給を担ってきた大規模林家等の実状及び意向に関する調査 (3)林政史資料の保全とデータベース構築 (4)森林所有者による「森林サービス産業」推進方策の構築 等	
3 活動基盤 整備 (14 件)	(1)森林ボランティア活動の推進・支援等 ・森林と市民を結ぶ全国の集い (2)全国緑の少年団連盟等への活動支援 ・緑の少年団指導者研修交流会 ・緑の少年団活動促進事業 ・都道府県連盟への活動支援 等 (3)全日本学校関係緑化コンクール (4)学校林を活用した森林環境教育の促進 (5)高校生ポスター発表会(日本森林学会) 等	
4 国際交流 (0 件)		
合計 59 件		

(2) 都道府県事業

区 分	事 業 内 容	摘 要
1 普及啓発 (110 件)	<p>(1) 森林づくり運動キャンペーン 緑化推進大会、グリーンフェスティバル、講演会、県植樹祭、みどりの日・山の日の集い、森林林業写真・作文コンクール、森林ふれあいフェア、緑化普及資材配布等</p> <p>(2) 山村地域等の活性化 地域の林業祭、ふるさと緑化推進活動、森林・木とのふれあい交流、山村フェア等</p> <p>(3) 住民参加の森林づくり 家族での緑とのふれあい、森林・木ふれあい活動、森林友の会育成、巨樹・巨木巡りツアー、地域住民による緑化推進活動等</p> <p>(4) 青少年の森林環境教育 緑の体験教室、森林・緑・自然に親しむ集い、森林林業体験教室、森林・巨樹巨木とのふれあい事業、自然観察会等</p> <p>(5) 木材需要拡大等 木製品普及啓発、利用拡大推進活動、ウッドフェスタ、森と木の暮らしフェア等</p>	
2 調査研究 (4 件)	ふるさとの杜・樹木活力調査関係	
3 活動基盤整備 (52 件)	<p>(1) 森林ボランティア活動の支援</p> <p>(2) 森林ボランティアリーダーの養成</p> <p>(3) 農山村と都市住民等との交流促進</p> <p>(4) 山村活性化と森林整備</p> <p>(5) 青少年育成の場としての森林活用促進</p> <p>(6) 地域のシンボリック森林の利活用促進</p> <p>(7) 企業の森林づくりの促進</p>	
4 国際交流 (0 件)		
合計 166 件		

(3) 公募事業

全国各地から幅広く応募のあった 106 件のうち 100 件を採択し事業費の一部について助成した。

事業区分	事業内容	摘要
1 普及啓発 (72件)	(1) 森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動 (2) 青少年を対象とする森林 ESD の推進（森のようちえんを含む）等森林環境教育の促進 (3) 森林づくり活動や森林の総合的利用を通じた山村地域の活性化・地域づくり運動の推進 (4) 地域材の利用・木材需要の拡大、木質製品利用推進に関する普及啓発 等	
2 調査研究 (8件)	(1) 園庭や裏山等を活用した自然保育に関する実証的研究 (2) 森林医学に基づいた予防・健康づくりを担う医師養成システムのあり方に関する実証的研究 (3) 学校林の利用支援・整備のあり方に関する調査研究 等	
3 活動基盤 整備 (17件)	(1) 森でコミュニケーションしよう「里山再生プロジェクト」 (2) 里山・自然体験リーダー・インストラクター人材の育成等 (3) 安全な森林づくり推進事業 等	
4 国際交流 (3件)	フィリピン北部における森林生態系など自然の力を活用した課題解決 等	
合計 100件		

参考資料

1. 令和5年度主な緑化行事

(単位:人)

	行 事 名	開催時期	開催場所	行 事 内 容	主催者	参加者数
1	こどもの森づくりフォーラム in SAITAMA	7月8日(土)・9日(日)	埼玉県秩父市等	基調講演、パネルディスカッション、分科会、パネル展示、エクスカージョン等	こどもの森づくりフォーラム実行委員会	延べ600
2	緑の募金キャンペーン2023秋	9月1日(金)～10月31日(火)	全国	スローガン:「緑の募金で進めようSDGs」、ポスター、シール、リーフレット、募金箱等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	—
3	森林ボランティアの日	9月第3日曜日	全国	森林ボランティア活動のイベントを集中的に実施	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会 参加ボランティア団体	—
4	第2回森林づくり全国推進会議	10月4日(水)	東京都/WEB配信	シンポジウム	森林づくり全国推進会議(事務局:国土緑化推進機構)	200
5	第46回全国育樹祭	11月11日(土)・12日(日)	お手入れ:潮来市(水郷県民の森) 式典:水戸市(アドストリアみとアリーナ)	テーマ:「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」 皇嗣同妃両殿下御臨席	国土緑化推進機構 茨城県	2,000
6	全国緑の少年団活動発表大会	11月11日(土)	茨城県行方市	緑の少年団活動の優良事例発表(5団)	国土緑化推進機構 茨城県 全国緑の少年団連盟	300
7	育林交流集会	11月11日(土)	茨城県大子町	事例発表	茨城県 国土緑化推進機構	200
8	国民参加の森林づくりシンポジウム	11月26日(日)	福井県坂井市	テーマ:「森林を守りつなぐ 福井の未来」 基調講演、パネルディスカッション	福井県 国土緑化推進機構 朝日新聞社 森林文化協会	300
9	エコプロ2023「森と木で拓くSDGsゾーン」	12月6日(水)～8日(金)	東京国際展示場「ビッグサイト」	フォレストサポーターズ等の参加促進、展示	国土緑化推進機構等	67,000
10	緑の少年団指導者等研修交流会	12月13日(水)～2月13日(火)	広島県・宮城県・静岡県・石川県・京都府	各県緑の少年団連盟関係者、指導者の研修・交流会	全国緑の少年団連盟 国土緑化推進機構	43
11	全国緑化キャンペーン2024	1月15日(月)～5月31日(金)	全国	スローガン:「『植える』緑化から『使う』緑化へ」 ポスター、マスコミを活用した広報等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	—
12	緑の募金キャンペーン2024春	1月15日(月)～5月31日(金)	全国	スローガン:「緑の募金で進めようSDGs」 ポスター、マスコミを活用した広報、リーフレット、募金箱、ラジオCM、TVCM用VTR等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	—
13	緑の募金・森林ファンド助成セミナー	2月上旬～3月上旬	WEB開催	個別相談	国土緑化推進機構	25
14	海岸防災林再生ワークショップ	3月14日(木)	宮城県仙台市	海岸林再生活動団体を対象に、団体間の技術及び広汎の情報交流を図る	みやぎ海岸防災林・森林づくり協議会、国土緑化推進機構	70

	行 事 名	開催時期	開催場所	行 事 内 容	主催者	参加者数
15	国際森林デー中央行事	3月23日(土)	東京 海の森公園	国際森林デーを記念し、森林や樹木への意識を高めるためのボランティア活動	国際森林デー中央行事実行委員会	54
16	第22回聞き書き甲子園フォーラム	3月25日(月)	国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室 WEB併催	受賞作品紹介、森・川・海の名人と高校生の体験談	聞き書き甲子園実行委員会	334
17	緑の募金 全国一斉強調月間	4月15日(月)～ 5月14日(火)	全国	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに各種のイベント、募金など多様な活動を展開	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	—
18	みどりの大使による「緑の羽根着用キャンペーン」	4月中旬～5月中旬	東京都内他	内閣総理大臣や経済界の要人等に、みどりの大使より「緑の羽根」の着用をお願い	国土緑化推進機構	—
19	みどりの日	5月4日(土・祝)	全国	自然観察会、森林ボランティア活動など	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	—
20	第33回みどりの感謝祭	4月15日(月)～ 5月14日(火)	東京都(イノホール、高尾599ミュージアム)外	式典(名誉総裁佳子内親王殿下御臨席、みどりの文化賞表彰、山火事予防ポスター作品表彰など) 併催行事(緑のフェスティバル) 協賛行事(全国7箇所)	みどりの感謝祭運営委員会	11,000
21	森林と市民を結ぶ全国の集い2024	5月8日(水)・20日(月) 6月1日(土)・2日(日)	東京都/WEB配信 /福岡県八女市	テーマ:「人も生き物たちも喜ぶ森をつくるには?～地域の自然との共生をめざして～」 基調講演、オンラインセッション、フィールドセッション	「森林と市民を結ぶ全国の集い2024」実行委員会 国土緑化推進機構	500
22	第74回全国植樹祭	5月26日(日)	岡山県岡山市 (ジップアリーナ岡山)	テーマ「晴れの国 光で育つ 緑の心」 天皇皇后両陛下御臨席	国土緑化推進機構 岡山県	3,000
	以下余白					

2. 令和5年度各種コンクール及び表彰の実施状況

(1) 令和6年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者

賞	受賞者
小学校の部	
特選	
文部科学大臣賞・国土緑化推進機構会長賞	濱田 小晴子 新潟県 新潟市立上所小学校 1年 (育樹運動ポスターとして採用)
農林水産大臣賞・国土緑化推進機構会長賞	宮本 光 愛知県 名古屋市立鶴舞小学校 6年 (国土緑化運動ポスターとして採用)
準特選	
林野庁長官賞	深谷 あかね 神奈川県 海老名市立上星小学校 5年 牛田 彬仁 香川県 観音寺市立観音寺小学校 2年 竹原 文崇 香川県 高松市立中央小学校 5年
入選	
国土緑化推進機構理事長賞	岡田 梓 岩手県 盛岡市立城北小学校 4年 久保田 楓 岩手県 盛岡市立城北小学校 3年 堀田 莉紗子 宮城県 美里町立青生小学校 1年 萩原 壮亮 群馬県 渋川市立古巻小学校 1年 徳政 光琉 千葉県 市原市立東海小学校 6年 桑原 奏人 東京都 町田市立南つくし野小学校 3年 斯波 旺希 神奈川県 伊勢原市立伊勢原小学校 1年 新聞 至 静岡県 静岡大学教育学部附属静岡小学校 6年 石川 芽衣子 愛知県 西尾市立西尾小学校 3年 三宅 希幸 滋賀県 野洲市立祇王小学校 6年 下岡 美也 京都府 亀岡市立大井小学校 2年 西尾 健成 大阪府 箕面市立西南小学校 4年 米原 花恵 鳥取県 米子市立車尾小学校 5年 和田 実結 徳島県 徳島市新町小学校 5年 市瀬 健 長崎県 佐世保市立早岐小学校 5年 竹上 月望 長崎県 佐世保市立清水小学校 3年 礪田 晃介 熊本県 人吉市立東間小学校 5年 野崎 宏太 鹿児島県 霧島市立天降川小学校 5年
中学校の部	
特選	
文部科学大臣賞	嶋倉 優斗 山形県 南陽市立沖郷中学校 3年
農林水産大臣賞	須田 優花 千葉県 市川市立第七中学校 2年

賞	受賞者		
準特選			
林野庁長官賞	市川 莉緒	静岡県 静岡市立清水庵原中学校	2年
	森下 真弥	岡山県 高梁市立高梁北中学校	3年
	寺田 夏花	鹿児島県 姶良市立帖佐中学校	2年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	熊谷 遼子	岩手県 一関市立花泉中学校	3年
	丸山 夢紀子	群馬県 群馬県立中央中等教育学校	1年
	藤井 朱理	千葉県 我孫子市立久寺家中学校	1年
	上原 早藍	静岡県 静岡市立大里中学校	2年
	鈴木 悠介	愛知県 豊川市立南部中学校	3年
	平島 はなね	滋賀県 守山市立守山北中学校	3年
	貸川 花	兵庫県 尼崎市立常陽中学校	3年
	小谷 萌	鳥取県 琴浦町立東伯中学校	3年
	岡 睦心	島根県 出雲市立向陽中学校	3年
	横尾 奈南	佐賀県 佐賀市立城北中学校	2年
	高木 里麻	宮崎県 宮崎市立宮崎西中学校	3年
	桑津 理暁	宮崎県 美郷町立西郷義務教育学校	2年
高等学校の部			
特選			
文部科学大臣賞	池宮 百音	沖縄県 沖縄県立開邦高等学校	1年
農林水産大臣賞	山口 夏季	佐賀県 佐賀県立有田工業高等学校	1年
準特選			
林野庁長官賞	栗田 埜々花	静岡県 静岡県立清水南高等学校	1年
	下間 里奈	奈良県 奈良県立高円芸術高等学校	1年
	東 蓬	岡山県 岡山県立高梁城南高等学校	3年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	小高 理緒	宮城県 古川高等学校	2年
	石井 里來	茨城県 茨城県立笠間高等学校	3年
	佐藤 春樹	新潟県 新潟県立新潟工業高等学校	3年
	生田目 朱莉	静岡県 静岡県立伊豆伊東高等学校	2年
	山口 恵麗奈	京都府 京都府立北嵯峨高等学校	1年
	林 純菜	香川県 香川県立高松工芸高等学校	2年

(2) 令和6年用国土緑化運動・育樹運動標語入賞者

賞	受賞者		
国土緑化運動標語 特選	渡辺 虎青	福島県福島県立相馬農業高等学校	3年
育樹運動標語 特選	服部 潤奈	愛知県稲沢市立千代田小学校	6年
入選	細井 由暁	茨城県五霞町立五霞中学校	2年
	三野 颯太	石川県羽咋市立羽咋小学校	4年
	木下 翔貴	山梨県富士吉田市立下吉田東小学校	5年
	若尾 奏良	岐阜県可児市立西可児中学校	3年
	吉田 芭月	静岡県磐田市立豊岡南小学校	6年
	池田 太樹	岡山県岡山県立勝間田高等学校	3年
	佐伯 保志香 山下 和博	愛媛県八幡浜市喜須来小学校 宮崎県	4年 一般

(3) 令和5年度全日本学校関係緑化コンクール入賞団体

賞	受賞者	
① 学校林等活動の部 小学校 特選 農林水産大臣賞・日本放送協会会長賞	鹿児島県	曾於市立恒吉小学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	岩手県 福島県	雫石町立御明神小学校 会津若松市立湊小学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	山梨県 宮崎県	都留市立谷村第一小学校 椎葉村立大河内小学校
中学校 特選 農林水産大臣賞	該当なし	
準特選 国土緑化推進機構会長賞	鹿児島県	三島村立三島竹島学園
入選 国土緑化推進機構理事長賞	該当なし	
高等学校 特選（農林水産大臣賞）	該当なし	
準特選（国土緑化推進機構会長賞）	秋田県	秋田県立能代支援学校

賞	受賞者
入選 国土緑化推進機構理事長賞	該当なし
② 学校環境緑化の部	
小学校	
特選	
文部科学大臣賞・日本放送協会会長賞	埼玉県 羽生市立羽生南小学校
準特選	
国土緑化推進機構会長賞	秋田県 仙北市立神代小学校
国土緑化推進機構会長賞	愛知県 岡崎市立形埜小学校
国土緑化推進機構会長賞	鹿児島県 鹿児島市立西紫原小学校
入選	
国土緑化推進機構理事長賞	福島県 会津若松市立大戸小学校
国土緑化推進機構理事長賞	山梨県 韮崎市立穂坂小学校
国土緑化推進機構理事長賞	熊本県 熊本市立河内小学校
国土緑化推進機構理事長賞	宮崎県 高千穂町立高千穂小学校
入選	
国土緑化推進機構理事長賞	
中学校	
特選	
文部科学大臣賞	広島県 東広島市立安芸津中学校
準特選	
国土緑化推進機構会長賞	熊本県 熊本市立白川中学校
国土緑化推進機構会長賞	鹿児島県 肝付町立岸良学園
入選	
国土緑化推進機構理事長賞	埼玉県 加須市立大利根中学校
国土緑化推進機構理事長賞	山口県 周南市立住吉中学校
入選	
国土緑化推進機構理事長賞	
特選	
文部科学大臣賞	熊本県 熊本県立ひのくに高等支援学校
準特選（国土緑化推進機構会長賞）	該当なし
入選	
国土緑化推進機構理事長賞	静岡県 静岡県立富士特別支援学校富士宮分校
国土緑化推進機構理事長賞	大分県 日本文理大学附属高等学校
協力者	
協力賞（ノースロップ賞）	愛知県 フォレストニア
（団体の部）	三重県 認定特定非営利活動法人 森林の風

(4) 令和5年度緑化功労者

賞	受賞者
農林水産大臣賞	長野県 任意団体 一期会 岡山県 三村 隆司 高知県 一般社団法人 高知県山林協会
国土緑化推進機構会長賞	岐阜県 原 富美子 愛知県 後藤 齊 大阪府 栗本 修滋
林野庁長官賞	北海道 山崎 繁 青森県 菅原 利耕 茨城県 梶川 裕二 栃木県 荒井 憲志 静岡県 熊谷 啓司 和歌山県 美浜町立松原小学校 山口県 福田 正志
国土緑化推進機構理事長賞	兵庫県 きすみの森林ボランティア 愛媛県 藤中 彰 福岡県 若杉霊峰会 佐賀県 川添 博信

(5) 令和5年度緑の少年団関係入賞団体

賞	受賞者
全国緑の少年団活動発表大会 みどりの奨励賞 (国土緑化推進機構理事長賞)	福島県 会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団 茨城県 生瀬緑の少年団 山梨県 ガールスカウト都留緑の少女隊 岐阜県 付知南小学校みどりの少年団 愛知県 梨の木小みどりの少年団
緑の少年団交流大会 みどりの奨励賞 (全国緑の少年団連盟会長賞)	山形県 鶴岡緑の少年団 東京都 八王子森林パトロール隊 富山県 魚津花とみどりの少年団 (星の杜小学校) 島根県 吉田中学校緑の少年団 大分県 きりかぶみどりの少年団
優良賞	青森県 尾駁小学校みどりの少年団 石川県 和気校下緑の少年団 兵庫県 あさご緑の少年団 愛媛県 平野緑の少年団 佐賀県 鹿島市明倫緑の少年団 熊本県 鹿北緑の少年団 宮崎県 椎葉村立尾向小学校みどりの少年団 鹿児島県 飯牟礼小緑の少年団
緑の少年団育成成功労団体等 (国土緑化推進機構理事長賞) (団体の部)	島根県 株式会社たなべたたら(吉田中学校緑の少年団) 熊本県 大野小学校忍者の森を守る会 (芦北町立大野小学校緑の少年団)
(個人の部)	山形県 梅津 忠一 (いいで緑の少年団) 東京都 川上 雅教 (八王子森林パトロール隊) 岐阜県 栗谷本 征二 (付知南小学校みどりの少年団)

(6) 令和5年度全国育樹活動コンクール入賞者

賞	受賞者
団体の部	
農林水産大臣賞	愛媛県 西予市林業研究グループ
林野庁長官賞	茨城県 株式会社カスミ 兵庫県 生活協同組合コープこうべ
国土緑化推進機構理事長賞	栃木県 もおか環境パートナーシップ会議 富山県 東猪谷地区 滋賀県 愛荘さくらを守る会 広島県 アサヒグループジャパン株式会社
個人の部	
農林水産大臣賞	茨城県 佐藤 健一
林野庁長官賞	佐賀県 中島 清光 熊本県 羽田 誠次

(7) 令和5年度ふれあいの森林^{もり}づくり表彰入賞者

賞	受賞者
国土緑化推進機構会長賞	埼玉県 秩父森づくりの会 静岡県 榛原ふるさとの森～だ～ず 兵庫県 ほくら～ととや森の世話人倶楽部 山口県 佐波の里山サポートネット
国土緑化推進機構理事長賞	茨城県 つくばね森林組合 栃木県 真岡ふたば幼稚園 新潟県 金谷山さくら千本の会 広島県 白滝山保全活用実行委員会 徳島県 株式会社徳島大正銀行

3. 令和5年度主な広報・普及活動等

項 目	発 行 部 数	主 な 配 布 先
<p>[広 報 活 動]</p> <p>機関紙「ぐりーん・もあ」の発行 (休刊・再開準備中)</p>		会員、都道府県・緑化推進委員会、森林ファンド・募金協力者、林業関係団体、マスコミ関係等
<p>「緑の募金だより」の発行</p>	<p>年2回発行</p> <p>秋 15,000部</p> <p>春 19,000部</p>	<p>会員、都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体、募金協力者等</p>
<p>[普及啓発資料等]</p> <p>「緑の少年団情報誌」</p>	6,300部	
<p>「令和6年用国土緑化運動ポスター原画コンクール入賞作品集」</p>	5,500部	<p>応募校、教育長、都道府県・緑化推進委員会</p>
<p>「令和6年用国土緑化運動等ポスター原画コンクール特選作品ポストカード」</p>	5,500部	<p>教育長、都道府県・緑化推進委員会</p>
<p>「緑の募金事業報告集」</p>	WEB公開	<p>受賞校、都道府県・緑化推進委員会、募金事業実施団体、募金協力者、関係団体</p> <p>緑化推進委員会、募金協力者</p>
<p>「緑と水の森林ファンド公募事業報告集」</p>	WEB公開	都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体
<p>「緑と水の森林ファンド都道府県事業報告集」</p>	150部	都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体
<p>[緑化推進資材等]</p> <p>ポスター (緑化・育樹)</p>	55,300部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
<p>ポスター (緑の募金)</p>	49,450部	緑化推進委員会、関係機関等
<p>ユニフォーム</p>	809点	緑の少年団、都道府県・緑化推進委員会、関係機関
<p>スカーフ留め具類</p>	957点	関係機関
<p>図書(緑の手帳等)</p>	3,328部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
<p>募金グッズ(緑の羽根)</p>	91,000本	募金協力者、林業関係団体等